

Cisco Unified IP Conference Station 7936 電話ガイド

ライセンスおよび保証

- 1 はじめに
- 2 設置
- 3 特徴と機能
- 4 Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス
- 5 Cisco Unified IP Conference Station 7936 の使用方法
- 6 一般的なトラブルシューティング情報
- 7 技術情報の入手方法
- 8 テクニカル サポート
- 9 その他の資料および情報の入手方法
- 10 シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定



1 はじめに

このガイドは、Cisco Unified IP Conference Station 7936（シスコのモデル番号 CP-7936）を設定して使用する際に役立ちます。IP Conference Station には Cisco Unified CallManager が必要です。また、システム管理者が、IP Conference Station 用にネットワークを準備する必要があります。IP Conference Station 用にネットワークが準備できていることをシステム管理者に確認してください。IP Conference Station の設定および使用を開始する前に、『*Release Notes for Cisco Unified IP Conference Station 7936*』、および **P.2** の「**パッケージの内容**」と **P.3** の「**安全上の注意事項**」の各項を必ずお読みください。



(注) IP Conference Station の設定が完了している場合は、**P.15** の「**特徴と機能**」に進んでください。

概要

Cisco Unified IP Conference Station 7936 は、Voice over IP (VoIP) 技術に基づく IP ベースのハンドフリー型会議室用端末です。IP Conference Station は、従来のアナログ会議装置とは異なり、IP ネットワークを介してビジネス会議用の各種機能（Call Hold、Call Resume、Call Transfer、Call Release、Call Pickup、Group Pickup、Redial、Mute、Conference など）を提供します。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 には、オプションの外部マイクロフォンを使用できるように、外付けマイクロフォン用のジャックが 2 つ装備されています。IP Conference Station は、スピーカ設計が拡張されているため、比較的広い会議室での電話会議に最適です。小規模な会議室やオフィスでの使用を想定している場合は、外部マイクロフォンを付けずに Cisco Unified IP Conference Station 7936 を発注することもできます。

パッケージの内容

次のリストを参照して、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の設置に必要なものがすべて揃っていることを確認してください。

- Cisco Unified IP Conference Station 7936 本体 1 台
- 6 フィート CAT 5 ケーブル 1 本
- 25 フィート CAT 5 ケーブル 1 本
- 電源インターフェイス モジュール (PIM) 1 個

- 電源装置 1 個（使用国に合った電源コードを別途注文する必要があります）
- オプションの外部マイクロフォンキット（外部マイクロフォン 2 個）（別途注文品です）
- 『Regulatory Compliance and Safety Information Guide』 1 冊

安全上の注意事項

IP Conference Station を使用する際の安全上の注意事項は、次のとおりです。IP Conference Station を設置または使用する前に、これらの注意事項をお読みください。

ステートメント 1071 : 警告の定義



警告 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。

ステートメント 1007 : TN および IT 電源システム



警告 この装置は、TN および IT 電源システムに接続することを前提に設計されています。ステートメント 1007



警告 システムを電源に接続する前に、必ず設置手順の説明をお読みください。



警告

この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告

この製品を最終的に廃棄するときは、国内の法律および規制すべてに従って処理する必要があります。



警告

雷が発生している間は、システムに対する作業、またはケーブルの着脱作業は行わないでください。



警告

感電事故を防止するため、**safety extra-low voltage (SELV; 安全超低電圧)** 回路を **telephone-network voltage (TNV; 電話網電圧)** 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートおよび WAN ポートは、RJ-45 コネクタを使用します。ケーブルを接続する場合には、注意してください。



警告

この製品は、短絡（過電流）に対する保護を建物の設備に依存しています。120 VAC、15 A 以下（米国）、または 240 VAC、10 A 以下（その他の国）のヒューズまたは回路ブレーカーが電圧線（電流が通る導体全部）に使用されていることを確認してください。



警告

プラグとソケットは、主要な切断装置として機能するので、常に手の届く状態にしておく必要があります。

**注意**

Cisco Unified IP Conference Station 7936 は、ローカル電源装置の使用時に UPS（無停電電源装置）によってサポートされていない場合は、電源停止時に作動不能になります。その結果、緊急電話番号への通話もできなくなります。

**注意**

携帯電話、移動電話、または双方向無線を Cisco Unified IP Phone の近くで使用すると、干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生している装置のメーカーのマニュアルを参照してください。

**(注)**

その他の安全上の警告、および本書に記載されている安全上の警告の翻訳については、*Cisco Unified IP Conference Station 7936* に付属の『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series*』を参照してください。

外部装置と Cisco Unified IP Phone の同時使用

Cisco Unified IP Phone で外部装置を使用する際には、次の点に注意してください。

- これらの装置の品質と、携帯電話や双方向無線など他の装置との距離によっては、音声周波数の雑音が多くなる場合があります。この場合は、次のアクションのいずれかまたは複数をとることを推奨します。
 - 外部装置を RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざける。
 - 外部装置ケーブルを RF 信号または AF 信号の発生源から遠ざけるようにルーティングする。
 - 外部装置に遮蔽ケーブルを使用するか、より効果が高い遮蔽とコネクタ付きのケーブルを使用する。
 - 外部装置ケーブルの長さを短くする。
 - 外部装置のケーブルに、フェライトなどの素子を付加する。
- シスコは外部装置、ケーブル、コネクタの品質をコントロールできないため、システムのパフォーマンスを保証できません。適切な装置を高品質のケーブルとコネクタで接続した場合に、適切なシステムパフォーマンスが得られます。

**注意**

EU 加盟国では、EMC 指令 [89/336/EC] に完全準拠している外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

認定準拠規格および安全情報の詳細については、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series*』を参照してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。

2 設置

この項では、基本的な設置手順および Cisco Unified IP Conference Station 7936 の最適なパフォーマンスを確保する方法について説明します。



(注) P.2 の「パッケージの内容」および P.3 の「安全上の注意事項」を必ず確認してください。また、『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series*』および『*Release Notes for Cisco Unified IP Conference Station 7936*』もお読みください。関連マニュアルのリストについては、P.14 の「関連マニュアル」を参照してください。

始める前に

正しく設置するためには、IP Conference Station 用にネットワークが準備できていること、および Cisco Unified CallManager がインストールされ、IP Conference Station 用に設定されていることを、システム管理者に確認する必要があります。

IP Conference Station の設置とネットワークへの接続

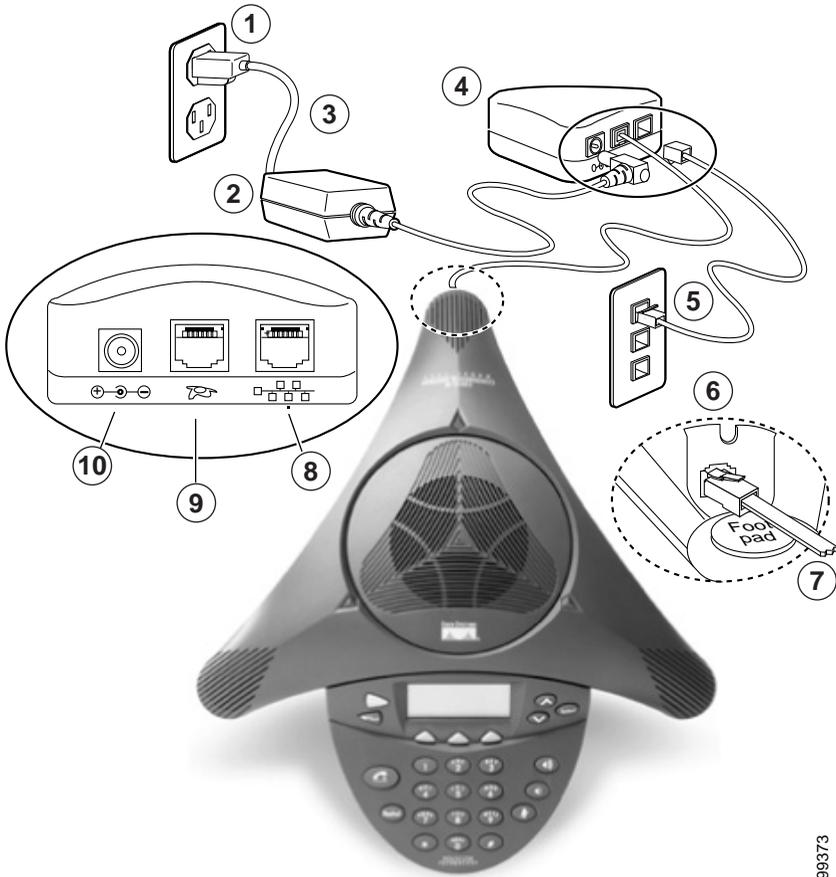
IP Conference Station を設置する際には、[図 1](#) および [図 2](#) を参照してください。

- [図 1](#) は、Cisco Unified IP Conference Station 7936 で使用する各種コンポーネント、電源、およびケーブルを接続する方法を示しています。
- [図 2](#) は、オプションの外部マイクロフォンを Cisco Unified IP Conference Station 7936 の底部にある外部マイクロフォン ジャックに接続する方法を示しています。



(注) Cisco Unified IP Conference Station を他の Cisco Unified IP Phone にデジタイゼーション接続する構成はサポートされていません。そのため、デジタイゼーション接続しても作動しません。

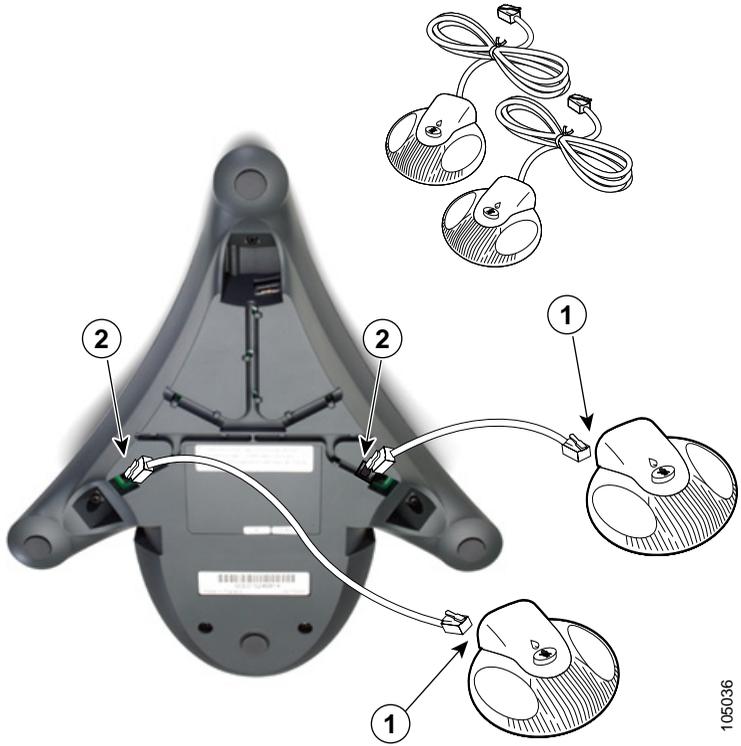
図 1 Cisco Unified IP Conference Station 7936 : コンポーネントと接続



99373

1	壁面電源コンセント	6	IP Conference Station の底面の RJ-45 ポート
2	電源コード	7	25 フィート CAT 5 ケーブルの未接続端
3	電源装置用電源コード	8	PIM の LAN 接続
4	PIM	9	PIM の 25 フィート CAT 5 ケーブル接続
5	LAN 接続	10	PIM の電源装置用 DC アダプタ ポート

図2 Cisco Unified IP Conference Station 7936 での外部マイクロフォン接続



105036

<p>1 外部マイクロフォンケーブルの先端を、外部マイクロフォンの底部にあるジャックに接続します。</p>	<p>2 外部マイクロフォンケーブルのもう一方の先端を、IP Conference Station 7936 の底部にある外部マイクロフォン ジャックに接続します。</p>
--	---

IP Conference Station を設置してネットワークに接続するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** IP Conference Station を平らな場所（たとえば、会議室のテーブルや机の上など）に置きます。
 - ステップ 2** 6 フィート CAT 5 ケーブルの一方の端をデータ ネットワーク ポートに接続し、もう一方の端を PIM のネットワーク (LAN) ポートに接続します。
 - ステップ 3** 25 フィート CAT 5 ケーブルの自由端を、IP Conference Station の底部にある RJ-45 ポートに接続します（このケーブルは、PIM にはあらかじめ接続されています）。
 - ステップ 4** 電源装置を PIM の DC アダプタ ポートに接続し、反対側の先端を壁にある普通の電源コンセントに差し込みます。
 - ステップ 5** 外部マイクロフォン キットを使用する場合は、各マイクロフォンのコードを、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の底部に設置されているマイクロフォン ジャックに接続します。この接続方法については、[図 2](#) を参照してください。



ヒント

ケーブル、PIM、電源、およびマイクロフォンのコードを正しく接続しないと、IP Conference Station は作動しません。

シスコによって保証されていないコンポーネントを使用した場合、正しく機能しない可能性があるだけでなく、IP Conference Station の製品保証が無効になる可能性もあります。

起動シーケンス

起動シーケンスの間に、次のメッセージが LCD スクリーンに表示されます。

シーケンスのステップ	LCD スクリーンの表示メッセージ
起動：電源投入から約 15 秒経過すると、起動プロセスが開始されます。	Cisco Systems, Inc. Polycom Technology Copyright 2003
IP アドレスの設定：プロトコルによる IP アドレスの設定中は、右記のメッセージが表示されます。	Configuring IP Press Menu to Reconfigure
TFTP 設定：TFTP サーバとの接続が確立されると、右記のメッセージが表示されます。	Station IP: IP アドレス Contacting: TFTP サーバ
Cisco Unified CallManager 設定： Cisco Unified CallManager との接続が確立されると、右記のメッセージが表示されます。	Opening: Cisco CallManager の IP アドレス
Cisco Unified CallManager 登録： Cisco Unified CallManager へのデバイスの登録中は、次のメッセージが表示されます。	Registering
初期化完了	Press the Phone Key to get a dial tone



(注) 起動プロセスには数分かかる場合があります。また、ネットワークのアクセス速度によっては、上記のメッセージの一部が表示されない場合があります。

IP Conference Station が Cisco Unified CallManager に正常に登録されると、LCD スクリーンに次の情報が表示されます。

- 日付と時刻
- IP アドレス
- ローカル番号
- 「Press the Phone Key to get a dial tone」というメッセージ
- Corp Dir ソフトキーおよび Ph Book ソフトキー

上記のステップが正常に終了した場合、IP Conference Station は正しく起動しています。

最適なパフォーマンスを確保するためのガイドライン

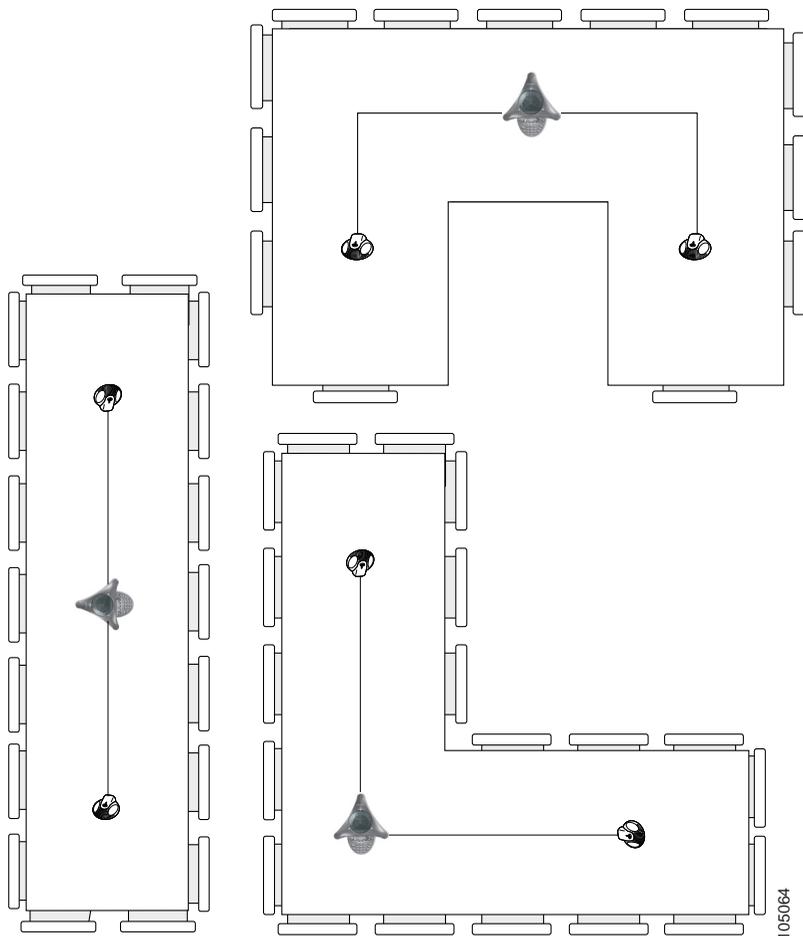
IP Conference Station 7936 および外部マイクロフォンの最適なパフォーマンスを確保するには、次のガイドラインに従います。会議室の構成に応じた機器の配置については、P.13の「会議室での配置例」を参照してください。

- 推奨する部屋の条件は、たとえば、6×6 m (20×20 フィート) までの広さ（外部マイクロフォンを使用しない）や6×9 m (20×30 フィート) の広さ（外部マイクロフォンを使用する）の閉め切ったオフィスまたは会議室で、大きなガラス面やセラミック面がないことです。
- IP Conference Station 7936 本体を平らな場所に置き、周囲に反射物がないことを確認します。
- 外部マイクロフォン、IP Conference Station 7936 本体、およびその他の物体との間は、それぞれ 1.2 m (4 フィート) 以上離しておきます。
- すべてのマイクロフォンについて、音声を遮る障害物がないことを確認します。
- 外部マイクロフォンは、集音する方向に向けます。つまり、外部マイクロフォンの集音部分を IP Conference Station 7936 本体に向けないようにします。
- すべての会議参加者から等距離になる位置に IP Conference Station 7936 を置きます。
- 普通の大きさの声で、IP Conference Station 7936 に向かって話します。
- コール中は、Conference Station 7936 本体や外部マイクロフォンを移動したり操作したりしないでください。
- オフィスまたは会議室の空調設備や換気扇などの機器から発せられるバックグラウンド ノイズを最小限に抑えます。
- IP Conference Station 7936 の近くでは、書類の音を立てないようにします。

会議室での配置例

図 3 は、会議室の構成に応じた IP Conference Station 7936 本体と外部マイクロフォンの適切な配置例を示しています。

図 3 Cisco Unified IP Conference Station 7936 本体と外部マイクロフォンの配置



不明点の問い合わせ先

IP Conference Station について、追加情報やサポートが必要な場合は、システム管理者に問い合わせてください。テクニカル サポート情報については、P.46 の「テクニカル サポート」を参照してください。

関連マニュアル

この『Cisco Unified IP Conference Station 7936 電話ガイド』のほかに、次の資料を参照できます（下に示す URL からアクセスしてください）。

- *Cisco Unified IP Conference Station 7936 アドミニストレーションガイド*
- *Cisco Unified IP Conference Station 7936 で外部マイクロフォンを使用する際のガイドライン*
- *Release Notes for Cisco Unified IP Conference Station 7936*
- *Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Unified IP Phone 7900 Series*（IP Conference Station に付属していますが、オンラインでも参照できます）

これらのマニュアルには、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/english/ipp7936/index.htm

日本語版マニュアルを参照する場合は、

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ip_t_cs.shtml にアクセスしてください。

その他のマニュアルについては、P.44 の「技術情報の入手方法」を参照してください。

3 特徴と機能

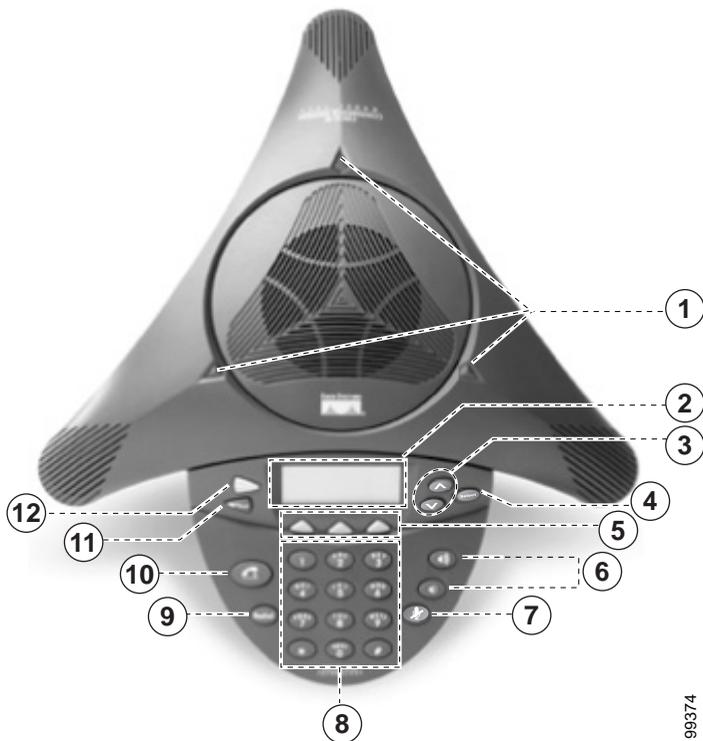
この項では、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の特徴と機能について説明します。

Cisco Unified IP Conference Station 7936 の特徴

IP Conference Station は、P.2 の「概要」で説明されているように、音声によるビジネス会議の特徴と機能を備えています。

図 4 は、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の特徴と機能を示しています。

図 4 Cisco Unified IP Conference Station 7936 : 特徴と機能



99374

1	LED	<p>コール状況を知らせるインジケータです。</p> <p>コール状態オフ：すべてのLEDが消灯。</p> <p>電源投入：赤色のLEDが点灯。</p> <p>待機状態：すべてのLEDが消灯。</p> <p>ダイヤルトーン：緑色のLEDが点灯。</p> <p>ダイヤル中：緑色のLEDが点滅。</p> <p>接続：緑色のLEDが点灯。</p> <p>消音：赤色のLEDが点滅。</p> <p>保留：赤色のLEDが点灯。</p> <p>着信コール：緑色のLEDが点滅し、呼び出し音が聞こえる。</p> <p>呼び出し中 / 接続中：緑色のLEDが点滅。</p>
2	LCD スクリーン	<p>ステータス インジケータとして機能します。IP Conference Station がオンラインになり、完全に作動状態になると、「Press the Phone Key to get a dial tone」というメッセージが表示されます。LCD スクリーンの待機画面には、IP Conference Station に割り当てられた日付、時刻、IP アドレス、および市内電話番号が表示されます。構成や管理に関するすべての設定値など、IP Conference Station のシステム ステータスも表示されます。LCD スクリーンはバックライト方式です。</p>
3	スクロール ボタン  	<p>LCD スクリーンに表示されるメニューやリストをスクロールできます。</p>
4	選択ボタン 	<p>選択されているメニュー オプションやリスト項目を選択します。</p>

5	ソフトキー	<p>Answer : 現在のコールに応答します。</p> <p>CFwdAll : すべての着信コールを別の番号にリダイレクトします。</p> <p>Confrn : 通話相手を電話会議に加えます。</p> <p>Corp Dir : コールする相手の番号を社内ディレクトリから検索できます。</p> <p>EndCall : コールを終了し、待機画面またはアクティブ コール リストに戻ります。</p> <p>GPickUp : 自分のグループ内または他のグループ内のコールに応答できます。</p> <p>Hold : アクティブ コールを保留にします。</p> <p>PickUp : 自分のグループ内のコールに応答できます。</p> <p>Ph Book : 電話帳を開きます。</p> <p>NewCall : 新しい番号をダイヤルできます。</p> <p>Resume : 選択したコールの保留を解除します。</p> <p>Transfer : 現在のコールを転送します。</p>
6	音量ボタン 	現在アクティブなサウンド、つまり通話、スピーカ、呼び出し音、またはダイヤル音のそれぞれの音量を調整します。
7	ミュート ボタン 	コールの消音機能をオンまたはオフに切り替えます。
8	キーパッド	選択されているメニューに応じて、電話番号のダイヤル、電話帳エントリの追加または編集、およびその他の入力ができます。
9	リダイヤル ボタン 	前回ダイヤルした番号を自動的にリダイヤルします。

10	電話ボタン 	ダイヤル トーンの発信、着信コールへの応答、および通話の終了を行います。
11	終了ボタン 	メニュー、リスト、または電話帳から、LCD スクリーンの待機画面に戻ります。
12	メニュー ボタン 	<p>IP Conference Station のメイン メニューを開いたり、閉じたりします。メイン メニューには、次の選択項目が含まれています。</p> <p>Call Functions : コール機能オプション (Meet-Me、Park、Pick-up、Group Pick-up、Transfer、Remove Last Participant、および Join) を開きます。</p> <p>Phone Book : 電話帳を開きます。</p> <p>Settings : 設定オプション (Contrast (コントラスト)、Language (言語)、Ringer (呼び出し音)、Time Format (時刻形式)、および Date Format (日付形式) など) を開きます。</p> <p>Admin Setup : 管理設定を開きます (管理者のパスワードが必要です)。</p>

4 Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス

この項では、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスについて説明します。

Web インターフェイスの説明

IP Conference Station の一部の機能は、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを介して設定できます。

IP Conference Station の Web インターフェイスは、3つのペインで構成されるウィンドウとして Web ブラウザに表示されます。ウィンドウの上部にはブラウザのメニューとツールバー、左側のナビゲーションペインには Table of Contents リンク、右側のペインにはリンク情報フィールドと設定フィールドが表示されます。また、右側のペインの右上隅にはバナーも表示されます。このバナーは、Web インターフェイス内のすべてのページに表示されます。このバナー情報には、ソフトウェアバージョン、プロトコルタイプ、ブート ロード ID、アプリケーション ロード ID、IP アドレス、MAC アドレス、および市内番号が含まれます。

Web インターフェイスの内容は、管理者用とエンドユーザ用で異なります。管理者用の表示にもエンドユーザ用の表示にも、ログイン パスワードは必須です。管理者は、Web インターフェイスで利用可能な管理者設定値について、『Cisco Unified IP Conference Station 7936 アドミニストレーションガイド』を参照する必要があります。

Web インターフェイスの使用方法

IP Conference Station の Web インターフェイスにアクセスするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Web ブラウザを開きます。

ステップ 2 アドレス フィールドに、設定対象の IP Conference Station の IP アドレスを入力します。

`http://<IP address of the IP Conference Station>:<HTTP Port Number>`

HTTP Port Number には、システム管理者から割り当てられた数値を入力します。この数値が割り当てられていない場合は、入力する必要はありません。Web インターフェイスを開くことができない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

Web インターフェイスの最初のページ (Login ページ) が表示されます。

ステップ 3 パスワードフィールドにエンドユーザのパスワードを入力し、**Login** をクリックします。



(注) エンドユーザのデフォルトのパスワードは 7936 です。パスワードが不明な場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ステップ 4 ログオフするには、**User Logout** をクリックします。

エンドユーザの設定値

エンドユーザの設定値は、次の Web ページで使用されます。

- Phone Book (電話帳)
- Sounds (音声)
- Time & Date (時刻と日付)
- Diagnostics (診断)
- Password Change (パスワード変更)

いずれの Web ページでも、「i」アイコンを使用することにより、オンラインヘルプ情報を表示できます。次に、各ページについて説明します。

Phone Book（電話帳）

Phone Book Web ページでは、エントリーを簡単に追加、削除、および編集できます。アルファベット順または電話番号順にエントリーを表示できます。また、電話帳から番号をダイヤルすることもできます。

Phone Book Web ページの使用方法

- ナビゲーション ペインで **Phone Book** をクリックします。
- アルファベット順にエントリーを表示するには、文字の組み合わせのいずれかをクリックします。たとえば、文字「D」で始まるエントリーを表示するには、**DEF** をクリックします。
- 電話番号順にエントリーを表示するには、**Dial Numbers only** をクリックします。
- 電話をかけるには、エントリーを選択し、**Dial** をクリックします。

エントリーの追加

ステップ 1 **Add** ボタンをクリックします。

ステップ 2 電話番号、姓名、および社名を入力します。

電話番号と姓は必須項目です。

ステップ 3 **Add New Entry** をクリックします。

電話帳にさらにエントリーを追加する場合は、上記の手順を繰り返します。

エントリーの削除

ステップ 1 エントリーを選択します。

ステップ 2 **Delete** ボタンをクリックします。

ステップ 3 **Delete** ボタンをもう一度クリックして、削除を確認します。

エントリの編集

ステップ 1 エントリを選択します。

ステップ 2 **Edit** ボタンをクリックします。

エントリに変更を加えます。

ステップ 3 **Update** ボタンをクリックして、変更内容を保存します。

Sounds（音声）

Sounds Web ページでは、呼び出し音およびダイヤル トーンを選択できます。

Sounds Web ページを開く

- ナビゲーション ペインで **Sounds** をクリックします。

呼び出し音の変更

ステップ 1 リスト ボックスから呼び出し音を選択します。

呼び出し音には、Pro、Biz、Euro、Chirp、および Bell の 5 種類があります。

Ringer Off を選択すると、IP Conference Station の呼び出し音が止まります。

ステップ 2 **Set Ringer** をクリックします。

ステップ 3 **Test Ringer** をクリックして、選択した音を確認します。

Time & Date（時刻と日付）

Time & Date Web ページでは、LCD スクリーンに表示される時刻と日付の形式を変更できます。

Time & Date Web ページを開く

- ナビゲーション ペインで **Time & Date** をクリックします。

時刻形式の変更

- 12 時間制の時刻形式を選択するには、12 時間制クロック オプションのボタンを選択します。
- 24 時間制の時刻形式を選択するには、24 時間制クロック オプションのボタンを選択します。
- **Change** をクリックして、変更内容を保存します。

日付形式の変更

- 月 / 日 / 年の形式を選択するには、MM/DD/YY オプションのボタンを選択します。
- 日 / 月 / 年の形式を選択するには、DD/MM/YY オプションのボタンを選択します。
- 年 / 月 / 日の形式を選択するには、YY/MM/DD オプションのボタンを選択します。
- **Change** をクリックして、変更内容を保存します。

Diagnostics（診断）

Diagnostics Web ページでは、別のデバイスとのネットワーク接続をテストできます。

Diagnostics Web ページを開く

- ナビゲーション ペインで **Diagnostics** をクリックします。

別のデバイスに対する Ping の実行

ステップ 1 Ping 先のデバイスの IP アドレスまたは名前を入力します。

ステップ 2 **Ping** をクリックします。

Ping 先のデバイスから応答が返されるはずですが、

Password Change (パスワード変更)

Password Change ページでは、ユーザ パスワードを変更できます。

Password Change ページを開く

- ナビゲーション ペインで **Password Change** をクリックします。

パスワードの変更

ステップ 1 Old User Password ボックスに、現在のユーザ パスワードを入力します。

ステップ 2 New User Password ボックスに、新しいユーザ パスワードを入力します。

ステップ 3 Confirm User Password ボックスに、新しいユーザ パスワードをもう一度入力します。

ステップ 4 **Change** をクリックします。

5 Cisco Unified IP Conference Station 7936 の使用方法

IP Conference Station 7936 は、1 回線で 2 コールまでサポートします。電話機のコントロール パネルには 25 個のキー（ボタン）があり、LCD スクリーンには情報が表示されます。

IP Conference Station 7936 の電話ボタンを押すと、オフフック状態になり、ダイヤル トーンが聞こえます。ダイヤル シーケンスが開始され、3 つの LED がオン（緑色）になり、アクティブ状態であることを示します。アクティブ コール中に別のコールを受信した場合、コール ウェイティング トーンが再生されます。

IP Conference Station 7936 の LCD スクリーンは、バックライトで照らされます。このバックライトは、キーが押されたときにオンになります。IP Conference Station 7936 が使用されていないとき、または、コールが 1 分を超えたときにオフになります。コール中にオフになった場合、別のコールを受信したときに再度オンになります。

IP Conference Station 7936 には、3 つの状況依存キー、および、メニュー、終了、スクロール、選択の各ボタンが用意されています。これらのキー（ボタン）を使用して、次の機能にアクセスできます。

- コール インターフェイス
- 設定インターフェイス
- その他のコール機能（ソフトキーからはアクセスできない機能）
- 電話帳へのアクセス（ローカル電話帳には最大 20 の番号を保存できます）

ユーザ オプション

次のユーザ オプションは、LCD スクリーンのメニューから利用できます。

LCD メニュー項目	説明
Call Functions : この機能にアクセスするには、次の手順に従います。 1. メニュー ボタンを押します。 2. スクロール ボタンの Up または Down ボタンを押して、 Call Functions を選択します。 3. 選択 ボタンを押します。	Call Functions では、Meet-Me、Park、Pick-up、Group Pick-up、Transfer、Remove Last Participant、Join などのソフトキーからは利用できないコール機能にアクセスできます。
Phone Book : 電話帳にアクセスするには、上記の手順に続けて Phone Book を選択するか、または、電話機の待機画面のメニューから Ph Book ソフトキーを押します。	電話帳にアクセスすることにより、新しい電話帳エントリを入力したり、作成した電話帳エントリから電話をかけたりすることができます。電話帳には最大 20 のエントリを保持できます。
Settings : ユーザによる修正が可能な設定にアクセスするには、上記の手順に続けて Settings を選択します。	ユーザによる修正が可能な設定には、LCD スクリーンのコントラスト、呼び出し音、時刻の形式、および日付の形式があります。

設定オプションには、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスからもアクセスできます。P.19 の「[Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイス](#)」を参照してください。

次の項では、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の各機能を使用する際の手順について説明します。

基本機能

コールの発信

ステップ 1 電話ボタンを押します。

ステップ 2 番号をダイヤルします。

コールへの応答

- 電話ボタンまたは **Answer** ソフトキーを押します。
アクティブ コールが LCD スクリーンのアクティブ コール リストに表示されます。

コールの終了

- 電話ボタンまたは **End Call** ソフトキーを押します。

コールの保留

ステップ 1 コール中に **Hold** ソフトキーを押します。

保留中のコールが LCD スクリーンのアクティブ コール リストに表示されます。

別のコールを発信するには、**New Call** ソフトキーを押してから、番号をダイヤルします。

ステップ 2 保留中のコールに戻るには、**Resume** ソフトキーを押します。

ステップ 3 保留中のコールが複数ある場合は、スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、アクティブ コール リストからコールを選択し、次に **Resume** ソフトキーを押します。

コールのリダイヤル

- リダイヤル ボタンを押すと、前回コールされた番号がダイヤルされます。

コールの消音

ステップ 1 コール中にミュート ボタンを押します。

LED が赤色に点滅し、LCD スクリーンに **Mute** アイコンが表示されます。

ステップ 2 消音をオフにするには、ミュート ボタンをもう一度押します。



ヒント

外部マイクロフォンを接続している場合は、外部マイクロフォンのミュート ボタンを押してコールを消音することもできます。

電話会議

電話会議の発信

ステップ 1 電話ボタンを押します。

ステップ 2 電話会議に加える最初の相手の番号をダイヤルします。

ステップ 3 相手が応答したら、**Confrn** ソフトキーを押して新しい回線を取得します。
他の通話相手は自動的に保留になります。

ステップ 4 電話会議に加える次の相手の番号をダイヤルします。

ステップ 5 相手が応答したら、同様に **Confrn** ソフトキーを押して、その通話相手を電話会議に加えます。

電話会議の参加者をさらに増やす場合は、ステップ 3～5 を繰り返します。



ヒント 相手の番号をダイヤルして電話会議に加えるには、電話帳を使用することもできます。

電話会議の終了

- 電話ボタンを押します。

Meet-Me

IP Conference Station は、Meet-Me 会議をサポートしています。Meet-Me 会議とは、発信者が、システム管理者によって設定された特別な会議番号をダイヤルして参加できる電話会議です。Meet-Me 会議の番号を取得するには、システム管理者に問い合わせてください。

Meet-Me 会議の確立

ステップ 1 電話ボタンを押します。

ステップ 2 メニュー ボタンを押します。

ステップ 3 **Call Functions** を選択し、次に **Meet-me** を選択します。

ステップ 4 Meet-Me 会議番号をダイヤルします。

ステップ 5 音声の指示に従って、Meet-Me 会議を確立します。

Meet-Me 会議への参加

- Meet-Me 会議のコーディネータから指定された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。
会議の開始者によって会議が確立されていれば、その会議に接続されます。

コール転送

コールの転送

ステップ 1 コール中に **Transfer** ソフトキーを押します。

この操作により、コールが保留になります。

ステップ 2 コールの転送先の番号をダイヤルします。

ステップ 3 呼び出し音が聞こえたら、もう一度 **Transfer** ソフトキーを押します。または、相手が応答したら、コールの転送を知らせたうえで **Transfer** ソフトキーを押します。



(注) コールを転送しない場合は、**Resume** ソフトキーを押して元のコールに戻ります。

最後の参加者の削除

会議から最後の参加者を削除

IP Conference Station では、電話会議への最後の参加者を削除できます。

ステップ 1 電話会議中にメニュー ボタンを押します。

ステップ 2 Call Functions を選択し、**選択** ボタンを押します。

ステップ 3 Remove Last Participant を選択し、**選択** ボタンを押します。

参加

2名の参加者を会議へ追加

IP Conference Station では参加機能をサポートしています。この機能を使用すると、1つの電話会議に2つのコールを参加させることができます。

ステップ 1 電話機に2つのコールがある状態でメニュー ボタンを押します。

ステップ 2 Call Functions を選択し、**選択** ボタンを押します。

ステップ 3 Join を選択し、**選択** ボタンを押します。

自動転送

電話機での自動転送の設定

ステップ 1 CFwdAll ソフトキーを押します。

ビープ音が2回聞こえます。

ステップ 2 すべてのコールの自動転送先となる番号を入力します。

実際にコールを発信するときに使用する番号をそのまま入力します。必要な場合には、9 などのアクセスコードやエリアコードも必ず入力してください。

コールの自動転送先となる電話番号または内線番号を確認するメッセージが、LCD スクリーンに表示されます。

ステップ 3 自動転送をキャンセルする場合は、もう一度 **CFwdAll** ソフトキーを押します。

Web インターフェイスでの自動転送の設定

ステップ 1 Web インターフェイスにログインします。

[P.19 の「Web インターフェイスの使用方法」](#) を参照してください。

ステップ 2 Web インターフェイスの Options ページで、**Forward all calls to a different number** をクリックします。

Forward Your Calls ページが表示されます。

ステップ 3 着信コールを自動転送する回線の横にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 4 コールの送信先を選択します。

- コールをボイスメッセージシステムに直接送信して、電話機の呼び出し音を鳴らさないようにする場合は、**Voice Mail** を選択します。
- コールを特定の番号に送信する場合は、その番号を選択し、表示されるボックスに電話番号または内線番号を入力します。実際にコールを発信するときに使用する番号をそのまま入力します。必要な場合には、アクセスコードやエリアコードも必ず入力してください。

ステップ 5 **Update** をクリックします。

コール ウェイティング

コール ウェイティングの使用法

- ステップ 1** コール中に別のコールを受信すると、コール ウェイティング トーンが再生されます。
- ステップ 2** **Hold** ソフトキーを押して、接続コールを保留にします。
保留中のコールが LCD スクリーンのアクティブ コール リストに表示されます。
- ステップ 3** **New Call** ソフトキーを押して、待機中のコールに応答します。
- ステップ 4** 保留中のコールに戻るには、**Resume** ソフトキーを押します。
- ステップ 5** 保留中のコールが複数ある場合は、スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、アクティブ コール リストからコールを選択し、次に **Resume** ソフトキーを押します。
2 コールまでサポートされます。
-

コール パーク

IP Conference Station では、指定された番号にコールを一時的に格納（つまり「パーク」）し、Cisco Unified CallManager システム内の別の電話機（たとえば、別のオフィスや会議室にある電話機）を使用して、そのコールを取り出すことができます。コール パーク番号は、システム管理者によって設定されます。

コールのパーク

- ステップ 1** アクティブ コール中に **メニュー** ボタンを押します。
- ステップ 2** **Call Functions** を選択し、**選択** ボタンを押します。
- ステップ 3** **Park** を選択し、**選択** ボタンを押します。
画面にコールのパーク先の番号が表示されます。

ステップ 4 そのコールパーク番号をメモします。

コールはその番号にパークされ、別の電話機から取り出すことができる状態になっています。パーク中のコールを取り出すには時間制限があります。その時間が経過すると、パーク中のコールは元の送信先の呼び出しに戻ります。時間制限については、システム管理者に問い合わせてください。

ステップ 5 Cisco Unified CallManager システム内の別の電話機からパーク中のコールを取り出すには、そのコールがパークされているコールパーク番号をダイヤルします。

コール ピックアップ

IP Conference Station では、別の IP Conference Station の内線電話番号に着信したコールに応答できます。別の電話機にコールが着信して呼び出し音が聞こえたときに、コール ピックアップ機能を使用すれば、そのコールを自分の IP Conference Station にリダイレクトできます。

IP Conference Station で利用できるコール ピックアップ機能には、次の 2 種類があります。

- コール ピックアップ：自分のグループ内の着信コールに応答します。この機能を選択すると、該当のコール ピックアップ グループ番号が自動的にダイヤルされます。
- グループ ピックアップ：自分のグループ内または他のグループ内の着信コールに応答します。この機能を使用する場合は、ユーザが該当のコール ピックアップ グループ番号をダイヤルする必要があります。

上記の機能が利用できるのは、システム管理者がそれらの機能をサポートするように IP Conference Station を設定した場合に限られます。IP Conference Station は、デフォルトではこれらの機能をサポートしていません。

自分のグループ内のコールへの応答

コール ピックアップでは、自分のグループ内の着信コールに応答できます。コール ピックアップをアクティブにすると、IP Conference Station に関連付けられているコール ピックアップ グループ番号が自動的にダイヤルされます。同じグループ内の別の電話番号にコールが着信すると、そのコールの呼び出し音はただちに IP Conference Station で鳴り始めます。ピックアップ グループに複数のコールが着信した場合は、未応答の最初のコールを受信します。コール ピックアップをアクティブにしたときに、グループ内に未応答のコールがない場合でも、IP Conference Station は次のコールを受信できます。

ステップ 1 電話ボタンを押します。

ステップ 2 **PickUp** ソフトキーを押します。

ステップ 3 IP Conference Station にリダイレクトされた着信コールに応答します。

他のグループ内のコールへの応答

グループ コール ピックアップでは、自分のグループ内または他のグループ内の着信コールに応答できます。この機能を使用する場合は、ユーザが該当のコール ピックアップ グループ番号をダイヤルする必要があります。

ダイヤルしたコール ピックアップ グループ内の別の電話番号にコールが着信すると、そのコールの呼び出し音はただちに IP Conference Station で鳴り始めます。ピックアップ グループに複数のコールが着信した場合は、未応答の最初のコールを受信します。グループ内に未応答のコールがない場合、または無効なコール ピックアップ グループ番号をダイヤルした場合は、速いビジー トーンが聞こえます。

ステップ 1 電話ボタンを押します。

ステップ 2 **GPickUp** ソフトキーを押します。

ステップ 3 目的のグループ コール ピックアップ番号をダイヤルします。

ステップ 4 IP Conference Station にリダイレクトされた着信コールに応答します。

ステップ 5 別のグループ コール ピックアップ番号にダイヤルするには、いったん電話を切ってから、再びステップ 1 から始めます。

音量の調節

スピーカフォンまたは呼び出し音の音量の調節

- 音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、音量を調節します。

ダイヤル トーンの音量の調節

ステップ 1 電話ボタンを押します。ダイヤル トーンが聞こえます。

ステップ 2 音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、音量を調節します。

社内ディレクトリ

IP Conference Station に登録されている従業員名と電話番号のディレクトリにアクセスできます。社内ディレクトリは、名前と電話番号で検索できます。

名前による社内ディレクトリの検索

ステップ 1 **Corp Dir** ソフトキーを押します。

検索画面が表示されます。姓と名のどちらか、または両方で検索できます。

ステップ 2 キーパッドを使用して、検索条件（姓と名）を入力します。スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、フィールドを選択します。

この検索方法では、入力する文字の数によって、検索対象を広げたり狭めたりすることができます。

文字を入力するには、目的の文字が割り当てられている番号キーを選択し、その文字の位置に対応する回数分、選択した番号キーを押します。たとえば、**B** を入力するには **2** のキーを 2 回押し、**C** を入力するには **2** のキーを 3 回押しします。

検索データを入力し直すには、< ソフトキーを使用します。

検索をキャンセルするには、**Cancel** ソフトキーを押します。

ステップ 3 **Search** ソフトキーを押して検索を開始します。

検索結果が表示されるまでの間、LCD スクリーンで「Searching...」というメッセージが点滅します。

ステップ 4 検索結果が表示されたら、スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、エントリを選択します。

検索結果のエントリ数が 32 を超えた場合は、**more >>** ソフトキーを押してから **Next** ソフトキーを押すと、次のエントリを表示できます。

前のエントリ表示に戻るには、**more >>** ソフトキーを押してから **Back** ソフトキーを押します。

検索画面に戻るには、**more >>** ソフトキーを押してから **NewSearch** ソフトキーを押します。

ステップ 5 **Dial** ソフトキーを押して番号を呼び出します。番号を編集するには、**EditDial** ソフトキーを押します。

ステップ 6 ディレクトリを終了するには、**Exit** ソフトキーまたは**終了**ボタンを押します。

電話番号による社内ディレクトリの検索

ステップ 1 **Corp Dir** ソフトキーを押します。

検索画面が表示されます。

ステップ 2 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Number** フィールドを選択します。

キーパッドを使用して、番号を入力します。この検索方法では、入力する数字の数によって、検索対象を広げたり狭めたりすることができます。

検索データを入力し直すには、**<** ソフトキーを使用します。検索をキャンセルするには、**Cancel** ソフトキーを押します。

ステップ 3 **Search** ソフトキーを押して検索を開始します。

検索結果が表示されるまでの間、LCD スクリーンで「Searching...」というメッセージが点滅します。

ステップ 4 検索結果が表示されたら、スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、エントリを選択します。

検索結果のエントリ数が 32 を超えた場合は、**more >>** ソフトキーを押してから **Next** ソフトキーを押すと、次のエントリを表示できます。

前のエントリ表示に戻るには、**more >>** ソフトキーを押してから **Back** ソフトキーを押します。

検索画面に戻るには、**more >>** ソフトキーを押してから **NewSearch** ソフトキーを押します。

ステップ 5 **Dial** ソフトキーを押して番号を呼び出します。番号を編集するには、**EditDial** ソフトキーを押します。

ステップ 6 ディレクトリを終了するには、**Exit** ソフトキーまたは**終了**ボタンを押します。

電話帳

電話帳は、電話会議に頻繁に参加する人の番号を登録しておくことができる便利な機能です。電話帳には、最大 20 個のエントリを登録できます。



ヒント Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを使用して、電話帳にアクセスすることもできます。

電話帳を開く

- **Ph Book** ソフトキーを押します。

電話帳の番号の呼び出し

ステップ 1 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、目的のエントリを選択します。

ステップ 2 **Call** ソフトキーを押します。

電話帳へのエントリの追加

ステップ 1 **New Entry** ソフトキーを押します。

ステップ 2 キーパッドを使用して、新しいエントリの姓、名、および電話番号を入力します。スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、Last、First、または Number のいずれかのフィールドを選択します。

文字を入力するには、目的の文字が割り当てられている番号キーを選択し、その文字の位置に対応する回数分、選択した番号キーを押します。たとえば、**B** を入力するには **2** のキーを 2 回押し、**C** を入力するには **2** のキーを 3 回押しします。

データを入力し直すには、<amp ソフトキーを使用します。

ステップ 3 新しいエントリを保存する場合は、**Save** ソフトキーを押します。新しいエントリを保存せずに終了する場合は、**Exit** ソフトキーを押します。

電話帳に追加できるエントリ数は最大 20 個です。

電話帳のエントリの編集

ステップ 1 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、エントリを選択します。**View/Edit** ソフトキーを押します。

Change ソフトキーまたは **Clr Entry** ソフトキーを使用して、選択したエントリを変更または消去することができます。エントリの変更でデータを入力し直すには <amp ソフトキーを押します。

保存せずに終了する場合は、**Exit** ソフトキーを押します。

ステップ 2 **Save** ソフトキーを押して、変更内容を保存します。

ステップ 3 メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻るか、または、**終了** ボタンを押して待機画面に戻ります。

設定

IP Conference Station では、一部の設定を調節することができます。これらの設定は、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の Web インターフェイスを使用して調節することもできます。

時刻と日付

- ステップ 1** メニュー ボタンを押します。
 - ステップ 2** スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Settings** を選択します。 **選択** ボタンを押します。
 - ステップ 3** スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Time Format** を選択します。
 - ステップ 4** 12 時間制の形式を選択する場合は **12 Hr** ソフトキーを押し、24 時間制の形式を選択する場合は **24 Hr** ソフトキーを押します。
 - ステップ 5** スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Date Format** を選択します。
 - ステップ 6** 月 / 日 / 年の形式を選択する場合は **MM/DD/YY** ソフトキーを、日 / 月 / 年の形式を選択する場合は **DD/MM/YY** ソフトキーを、年 / 月 / 日の形式を選択する場合は **YY/MM/DD** ソフトキーを押します。
 - ステップ 7** メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻るか、または、 **終了** ボタンを押して待機画面に戻ります。
-

LCD スクリーンのコントラスト

- ステップ 1** メニュー ボタンを押します。
- ステップ 2** スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Settings** を選択します。 **選択** ボタンを押します。
- ステップ 3** スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Contrast** を選択します。

ステップ 4 –または+ソフトキーを押して、LCD スクリーンを好みのコントラストに設定します。

ステップ 5 メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻るか、または、**終了**ボタンを押して待機画面に戻ります。

呼び出し音

ステップ 1 メニュー ボタンを押します。

ステップ 2 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Settings** を選択します。 **選択** ボタンを押します。

ステップ 3 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Ringer** を選択します。

ステップ 4 **Change** ソフトキーを押して、呼び出し音のリストを表示します。

選択可能な呼び出し音は 5 種類あります。

ステップ 5 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、呼び出し音 (**Pro**、**Biz**、**Euro**、**Chirp**、および **Bell** のいずれか) を選択します。

Ringer Off を選択すると、**IP Conference Station** の呼び出し音が止まります。

ステップ 6 **Listen** ソフトキーを押して、呼び出し音を確認します。

ステップ 5 と 6 を繰り返して、好みの呼び出し音を選択します。

ステップ 7 **Save** ソフトキーを押します。

ステップ 8 メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻るか、または、**終了**ボタンを押して待機画面に戻ります。

言語

ステップ 1 メニュー ボタンを押します。

ステップ 2 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Settings** を選択します。**選択** ボタンを押します。

ステップ 3 スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Language** エントリを表示します。



(注) 使用できる言語は **English** だけです。

ステップ 4 メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻るか、または、**終了** ボタンを押して待機画面に戻ります。

6 一般的なトラブルシューティング情報

この項では、Cisco Unified IP Conference Station 7936 の一般的なトラブルシューティングについて説明します。

問題が発生した場合は、次の表を参考にしてください。

問題	解決法
ダイヤル トーンが聞こえない。	<ul style="list-style-type: none">すべての接続箇所について、所定の位置にしっかりと接続されていることをチェックします。必ずすべての接続箇所を確認して、正しく接続します。P.7 の「IP Conference Station の設置とネットワークへの接続」を参照してください。
IP Conference Station の呼び出し音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none">呼び出し音の設定が「Ringer Off」になっていないことを確認します。音量をチェックします。IP Conference Station が Cisco Unified CallManager と通信していることを確認します。
LCD スクリーンに何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none">電源が入っていることを確認します。電源コンセントに電源コードのプラグがしっかりと差し込まれていることを確認します。
LCD スクリーンの表示に関する問題。	<ul style="list-style-type: none">屋内で特定のタイプの旧式蛍光灯を使用しているために、LCD スクリーンでうなり周波数（走査線）が確認される場合は、この蛍光灯から離れた場所に IP Conference Station を移動するか、または、蛍光灯を交換します。この処置により問題は解消するはずです。
DTMF 遅延。	<ul style="list-style-type: none">キーをゆっくり押します。キーパッドの入力が必要なコール中に、キーを押すのが速すぎると、一部のキーが認識されない場合があります。

問題	解決法
<p>IP Conference Station がリセットされる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • IP Conference Station は、Cisco Unified CallManager ソフトウェアとの接続が失われると、リセットされます。 IP Conference Station と Cisco Unified CallManager との接続が失われると、次のステータスメッセージが LCD スクリーンに表示されます。 <i>Registering</i> • IP Conference Station は、ネットワークとの接続が失われると、リセットされます。 IP Conference Station とネットワークとの接続が失われると、次のステータスメッセージが LCD スクリーンに表示されます。 <i>Configuring IP</i> <p>これらの接続が失われる原因は、ケーブルの切断、スイッチの停止、スイッチのリポートなどによるネットワーク接続の中断の可能性にあります。</p> <p> (注) IP Conference Station を手動で再起動するには、電話機が待機状態でメニュー画面（第 1 レベルまたは第 2 レベル）が表示されているときに、電話機のキーパッドで ***#** を押します。たとえば、メインメニュー（第 1 レベル）または Admin Setup メニュー（第 2 レベル）から、このキーパッドコマンドを使用できます。</p>

上記以外の問題が発生した場合は、システム管理者に問い合せてください。

7 技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアル、テクニカル サポート、およびその他のリソースは、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

Documentation DVD（英語版）

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Documentation DVD パッケージでご利用いただけます。Documentation DVD は定期的に更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。また、この Documentation DVD パッケージのみを発注することもできます。

Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customers）の場合、Ordering ツールまたは Cisco Marketplace から Cisco Documentation DVD（Product Number DOC-DOCDVD=）を発注できます。

Cisco Ordering ツール：

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

Cisco Marketplace：

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法（英語版）

英文マニュアルの発注方法については、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/pdi.htm

シスコ製品の英文マニュアルは、次の方法で発注できます。

- Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customers）の場合、Ordering ツールからシスコ製品の英文マニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/>

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

8 テクニカル サポート

シスコと正式なサービス契約を交わしているすべてのお客様、パートナー、および代理店は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) の 24 時間テクニカル サポートを、オンラインと電話で利用することができます。Cisco.com は、オンラインによる技術上の支援のための窓口として、Cisco TAC Web サイトを運営しています。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco TAC Web サイト

Cisco TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) では、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。Cisco TAC Web サイトは、24 時間 365 日、いつでも利用可能です。

Cisco TAC Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

TAC での事例の検索

オンラインの TAC Case Open Tool (<http://www.cisco.com/tac/caseopen>) を使用すると、P3 と P4 の事例を短時間でオープンできます (P3 : ネットワークに軽微な障害が発生した、P4 : 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を迅速に解決するための推奨手段が自動的に検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、Cisco TAC のエンジニアが対応します。

P1 または P2 レベルの問題が発生した場合 (P1 : ネットワークがダウンした、P2 : ネットワークの機能が著しく低下した)、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください。P1 および P2 レベルの問題には、Cisco TAC のエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

TAC 優先レベルの定義

シスコでは、TAC に報告される事例を標準化するために、事例の優先レベルを定義しています。

プライオリティ レベル 1 (P1) : ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

プライオリティ レベル 2 (P2) : 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

プライオリティ レベル 3 (P3) : ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

プライオリティ レベル 4 (P4) : シスコ製品の機能、インストラクション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

9 その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- 『Cisco Product Catalog』には、シスコシステムズが提供するネットワーク製品のほか、発注方法やカスタマー サポート サービスについての情報が記載されています。『Cisco Product Catalog』には、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_catalog_links_launch.html

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』は、シスコが発行する季刊誌で、最新ネットワーク トレンド、最新テクノロジー、および業界の専門家がネットワーク投資を最大限に活用するのに役立つシスコ製品およびソリューション情報が記載されています。ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、チュートリアルおよびトレーニング、認定情報、およびさまざまな充実したオンライン サービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本語版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』は、シスコが発行する隔月誌で、業界の経営幹部向けにインターネット ビジネス戦略に関する最新情報を提供します。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqumagazine>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/about/ac123/ac147/about_cisco_the_internet_protocol_journal.html

- トレーニング：シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

10 シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、シスコ製品に同封された CD および Cisco.com にあります。次の手順を実行して、CD から、あるいは Cisco.com から *Cisco Information Packet*、および保証にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-02F0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先：	
購入先担当者の電話番号：	
製品モデル番号：	
製品シリアル番号：	
メンテナンス契約番号：	

以下の情報は Class B 装置の FCC 適合に関するものです。このマニュアルで解説している装置は、無線周波エネルギーを発生し、また放射することもあります。シスコのインストラクションに関する指示に従って設置されない場合には、ラジオやテレビの受信に干渉を起す可能性があります。この装置は、テスト済みであり、FCC ルールの Part 15 に記載されている仕様に基づく Class B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。この仕様では、住居に設置した場合にこのような干渉が起きないようにしています。ただし、特定の設置条件で干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコによる書面での認可なしに装置に対して変更を行うと、Class A または Class B デジタル装置に要求される FCC への適合ができない可能性があります。この場合、装置の使用権限は FCC 規制によって制限され、ユーザ側の費用でラジオまたはテレビへの干渉防止措置を講じなければならない場合があります。

装置の電源を切ることによって、装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺装置が原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまでテレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動します。
- テレビまたはラジオから離れた場所に装置を移動します。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します（装置とテレビ/ラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします）。

シスコより認められていない変更をこの製品に対して行った場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作するユーザの権限を失うことになります。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) パブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved.Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、すべてのマニュアルおよび上記各社のソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取り引きによって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Web site at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, the Cisco Square Bridge logo, Follow Me Browsing, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0601R)

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501